

青少年育成
だより

発行 塩尻市青少年育成センター

電話 52-0280 内線3151

7月の活動日誌から ～ 各班の活動紹介 ～

第1班(大門)【7月28日(水)】

暑い日の巡回となりました。大門原公園では小学生5～6人が楽しそうに遊んでおり、声をかけると元気にあいさつしてくれました。えんぱーくは休館日でしたが、空きスペースで学習している学生が見られました。夏休みですが、コロナ禍のため、子どもの姿は全体的に少なく感じました。

第2班(大門)【7月29日(木)】

玄蕃祭が中止でオンラインになり、通常巡回に変更になりました。夏休み中ですが、子どもたちを街で見かけることはほぼありませんでした。えんぱーくも思ったほどの人の数ではありませんでしたが、静かに勉強する子ども達の姿がありました。駅前では部活帰りの中学生が元気に挨拶してくれ、最近の生活や部活の話をしてくれました。ゲリラ豪雨のせいなのか、吸殻などのゴミもなく、街中がきれいに感じました。

第3班(塩尻東)【7月6日(火)】

青少年が立ち寄る場所として、地区外ではあるが、ゲームセンター「アピナ」とショッピングセンター「ギャザ」の見回りをしました。しかし、小中学生は見当たらず、両店とも客はまばらでした。ギャザ屋上の駐車場も行ってみました、心配な状況は見られませんでした。

第4班(塩尻東)【7月1日(木)】

※あいさつ運動

塩尻東小学校で高学年を対象に「あいさつ運動」をしました。雨模様の天気でしたが、幸い実施中は雨に遭うこともなく、子ども達の元気な声を聞くことができました。入れ替わりに、先に下校した低学年の子ども達3人程が自転車で校庭に遊ぶにきましたが、私たちの姿を見て「こんにちは」と大きな声であいさつが出来、感心しました。ひと昔は校庭で遊ぶのは当たり前でしたが、近年は見かけることが少なくなりました。

第8班(吉田)【7月9日(金)】※あいさつ運動

吉田小学校昇降口付近や通用口の所で「あいさつ運動」を実施しました。みんな元気に「こんにちは」「さようなら」とあいさつし、こちらも元気に返しました。やはり高学年の方が自分から

あいさつが出来ていました。

西側通用口の横断歩道のある道路ですが、一方通行規制にはなっているものの、活動中に4台も通行し、下校時間帯にちょっと心配です。

第9班(洗馬)【7月7日(水)】※あいさつ運動

洗馬小学校で「あいさつ運動」を実施しました。

2班に分かれて下校する子ども達に「さようなら」「気をつけて帰ってね」と声をかけました。子ども達からも大きな声が返ってきました。

数日前に、他県で集団下校の小学生の列にトラックが飛び込むという痛ましい事故が起きたばかりでしたが、このような悲惨な事故が二度と起こらない事を願うばかりです。

第12班(宗賀)【7月15日(木)】

いつも通り宗賀支所に集合し、児童数の多い広丘地区のゲームセンターやショッピングセンターに出かけて見回りを実施しました。

アピナでは店長に身分証を呈示し、来店の目的を説明してパトロールさせてもらいました。ただ、下校時からそれほど時間が経っていない事もあり、子どもの姿はなく、ギャザでも同様でした。曜日や時間帯の設定などに工夫が必要だと感じました。

第14班(檜川)【7月14日(水)】

本日は、木曽檜川小学校の通学路巡回を実施しました。集団下校ではありませんでしたが、奈良井方面、木曽平沢方面に分かれ、児童とともに下校しました。平沢方面は低学年3名と一緒に歩きました。短い時間でしたが、子ども達と触れ合うことができました。引き返すと高学年5名ほどとすれ違い、あいさつを交わしました。奈良井方面は8名ほどの児童と奈良井宿のはずれまで歩きました。

あいさつは、人と人をつなぐ
魔法のことば

愛のひと声は
“あいさつ”から

毎月11日はあいさつの日
※ヒトとヒト、アイとアイ



私たちの協議会と県や各市の協議会の関係について(紹介)

- 1 私たちの前身である塩尻市青少年補導委員協議会(現:青少年育成委員協議会)は、昭和50年に青少年健全育成の拠点である「青少年補導センター」傘下の自治体系ボランティア団体として発足しました。
- 2 当時、少年非行が社会問題化する情勢の中で、総理府主導で全国の自治体に補導センターを設置する動きが加速し、塩尻市と相前後して県下各市にセンター及び協議会が設置されました。
市によって様々な名称があり、例えば、現在、県内19市に
少年育成センター・青少年育成センター
児童青少年育成センター・青少年補導センター・青少年育成補導センター・愛護センター・少年センター・青少年センターなどがあり、県内16市に私たちと同じボランティア委員による協議会があります。
- 3 そして、県内のセンターをまとめた組織が「長野県補導センター連絡協議会」、委員による県内の協議会をまとめた組織が「長野県補導委員会連絡協議会」です。
この「長野県補導委員会連絡協議会」の今年度の会長市は岡谷市ですが、昨年度は塩尻市が務め、私たちの薄田会長が県の会長を務めました。
県の連絡協議会の大きな行事に年1回(7月)開催される「補導活動推進大会」があります。これは、県内各市の私たちと同じ委員が一堂に会して、表彰、講演、活動事例発表などを行う大会ですが、コロナの影響で令和2年度に続き、今年度も中止となっています。
- 4 <課題>
発足当時とは社会状況が激変しており、補導を中心に据えるセンターの在り方から脱却すべく、塩尻市は補導から育成への重点シフトを行いました。他市も少なからず、時代に対応したセンターの在り方を模索しています。今、「新時代の青少年健全育成とは何か」が問われています。「変えてはいけないもの、変えなければいけないもの」の見極めをしながら、知恵と工夫が求められています。



正しい電子メディア機器の使い方を子どもと一緒に考えましょう!

●スマホの所有状況(長野県)

	持っている	家族と共有	持っていない
小学生	18.0	37.7	44.3
中学生	43.0	25.3	31.7
高校生	99.1	0.5	0.4

(単位: %)

長野県ではスマホを「家族と共有」している割合が高く、フィルタリングがかかっていない親のスマホで課金などがしやすい状況があります。

(※小学生は高学年対象)

なお、ゲーム機は小中学生の5割が利用していますが、ゲーム機でもネットに接続できます。

●スマホ、ゲーム機などを使うようになって変わったこと

	「はい」の割合(単位: %)	
1 勉強する時間が削られている。	小学生 11.5	中学生 23.8
2 睡眠時間が削られている。	小学生 11.0	中学生 21.7
3 動画や写真を投稿するようになった。	小学生 2.4	中学生 7.6
4 課金をするようになった。	小学生 10.6	中学生 11.6
5 ネットで知り合った人とあった。	小学生 1.4	中学生 1.3

※令和2年度「子どもとメディア信州」調査結果から

<8月の各班活動計画>

- 集合時間・場所等は個々に御通知します。
- 欠席の場合は、班長または事務局まで御連絡をお願いいたします。

第5班(片丘)	8/2(月)	ゲームC等
第6班(広丘)	8/11(水)	通常巡回
第7班(高出)	8/27(金)	通学路
第10班(洗馬)	8/19(木)	ゲームC等
第11班(宗賀)	8/29(日)	ゲームC等
第13班(北小野)	8/25(水)	通学路

事務局から連日の猛暑とともにコロナ感染症の第5波が襲ってきました。私たちの活動も、まずは御自身の身の安全と健康を考えていただきたいと思います。気温とその日の体調とも相談して、無理をしないようお願いいたします。**熱中症、コロナ対策に万全の対策を! 水分補給、マスク!**(T)